

# 令和4年度 経営発達支援事業評価報告書(概要版)

## 【実施期間】

令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）

## 【経営発達支援計画とは】

小規模事業者の技術の向上、新たな事業の分野の開拓その他の小規模事業者の経営の発達に特に資するものについての計画を作成し、これを経済産業大臣の認定を受け、小規模事業者の需要を見据えた経営の促進と販路開拓が主な内容で、更には小規模事業者の持続的発展から、地域経済の活性化を目指す。

## 【経営発達支援計画の目標】

- ① 意欲ある事業者を見極め、地域の核を担える事業者の育成
- ② 経営資源を活用した新たな販路開拓による小規模事業者の経営力向上
- ③ 地域活性化につながる新規創業者掘り起こし、事業承継支援による新陳代謝促進



## 【奥州商工会議所経営発達支援計画評価委員会委員】

| No | 職名  | 氏名    | 役職等                           |
|----|-----|-------|-------------------------------|
| 1  | 委員長 | 菊地 浩明 | 奥州商工会議所 専務理事                  |
| 2  | 委員  | 山本 卓美 | 岩手県県南広域振興局 経営企画部長             |
| 3  | 委員  | 佐賀 俊憲 | 奥州市 商工観光部長                    |
| 4  | 委員  | 及川 和人 | (税)及川会計 代表社員税理士(税理士・商工調停士)    |
| 5  | 委員  | 高橋 雅裕 | (株)高橋コンサルティングオフィス 代表(中小企業診断士) |

## 【評価】

|         |         |           |        |          |                |
|---------|---------|-----------|--------|----------|----------------|
| A: 目標達成 | B: 概ね達成 | C: 半分程度達成 | D: 未達成 | E-1: 未着手 | E-2: コロナによる未実施 |
|---------|---------|-----------|--------|----------|----------------|

## I. 経営発達支援事業の内容

| 事業内容                    | 目標           | 実績 | 評価 | 【評価割合】                                       |
|-------------------------|--------------|----|----|--|
| 1. 地域の経済動向調査に関すること      |              |    |    | 【 評価割合 】<br>A : 目標達成 100.0%                  |
| (1) 奥州市景気動向調査（四半期毎）の実施  | 実施回数<br>4回   | 4回 | A  |  |
| (2) 地域経済動向分析の実施         | 実施回数<br>1回   | 1回 | A  |  |
| (3) 移動商工会議所（年4回）の実施     | 実施回数<br>4回   | 5回 | A  |  |
| 2. 需要動向調査に関すること         |              |    |    | 【 評価割合 】<br>A : 目標達成 50.0%<br>B : 概ね達成 50.0% |
| (1) ふるさと納税返礼品アンケート調査    | 支援事業者数<br>2者 | 2者 | A  |  |
| (2) チャレンジショップを活用したニーズ調査 | 支援事業者数<br>2者 | 3者 | B  |  |

|  |                       |             |   |  |
|--|-----------------------|-------------|---|--|
| 3. 経営状況の分析に関すること                             |                       |             |   | 【 評価割合 】                                 |
| (1) 経営分析対象事業者の掘り起こし                          | 分析事業者<br>80者          | 85者         | A | A : 目標達成<br>100.0%                       |
| 4. 事業計画策定支援に関すること                            |                       |             |   | 【 評価割合 】                                 |
| (1) 事業計画策定の支援                                | 策定事業者数<br>50者         | 38者         | B | B : 概ね達成<br>25.0%<br>A : 目標達成<br>75.0%   |
| (2) DX推進セミナーの開催                              | 実施回数<br>1回            | 1回          | A |  |
| (3) 事業計画策定セミナーの開催                            | 実施回数<br>1回            | 2回          | A |  |
| (4) 創業計画策定セミナーの開催                            | 実施回数<br>1回            | 1回          | A |  |
| 5. 事業計画策定支援後の実施支援に関すること                      |                       |             |   | 【 評価割合 】                                 |
| (1) 事業計画策定支援後のフォローアップ                        | 事業者数<br>50者           | 57者         | A | C : 半分程度達成<br>50.0%<br>A : 目標達成<br>50.0% |
|  | 延べ回数<br>200回          | 182回        | A |  |
|  | 売上増加<br>事業者数<br>30者   | 17者         | C |  |
|  | 経常利益率<br>増加事業者<br>30者 | 17者         | C |  |
| 6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること                     |                       |             |   | 【 評価割合 】                                 |
| (1) 展示商談会への出展支援事業（B to B）<br>「ビジネスマッチ東北」出展支援 | 出展事業者数<br>3者          | 5者          | A | A : 目標達成<br>100.0%                       |
|  | 成約件数<br>1者            | 1者          | A |  |
| (2) ふるさと納税寄付金制度を活用した<br>販路開拓支援事業（B to C）     | 新規登録者<br>2者           | 6者          | A |  |
|  | 売上増加率<br>10%          | 8%～<br>126% | A |  |
| (3) 支援サイトを活用した取引先拡大支援事業<br>（B to B）          | 登録者数<br>（累計）<br>30者   | 32者         | A |  |
|  | 成約件数<br>1者            | 1者          | A |  |

## II. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

|   |   |                             |
|---|---|-----------------------------|
| 1. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること  |   | 【 評価割合 】<br>A : 目標達成 100.0% |
| <p>岩手県・奥州市・商工調停士・中小企業診断士等の外部有識者を<br/>(1) 含めた評価委員会を開催し、各種事業の進捗状況・成果について<br/>評価・検証を行い見直しに向けての意見交換を行う。</p> | A |                             |
| <p>評価・見直しの結果については、正副会頭会議へ報告のうえ当所<br/>(2) ホームページへ掲載し、広く閲覧できる状態とする。</p>                                   |   | A                           |
| 2. 経営指導員等の資質向上等に関すること   |   | 【 評価割合 】<br>A : 目標達成 100.0% |
| (1) 外部研修の積極的活用  | A |                             |
| (2) セミナー参加、専門家との帯同によるスキル習得  | A |                             |
| (3) DX推進に向けた相談・指導能力の習得  | A |                             |
| (4) 経営指導員連絡会議による情報共有  | A |                             |
| (5) 組織内における支援情報の共有・データベース化  | A |                             |
| 3. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること   |   | 【 評価割合 】<br>A : 目標達成 100.0% |
| (1) 小規模事業者経営改善資金貸付連絡協議会（年2回）  | A |                             |
| (2) 岩手県内商工会議所経営支援情報交換会（年2回）   | A |                             |
| (3) 東北六県商工会議所中小企業相談所長会議（年1回）  | A |                             |
| (4) 岩手県事業承継ネットワーク会議（年2回）  | A |                             |

### 【委員からの主な評価及び意見】

#### 1. 総評

- コロナ禍にあって創意工夫をしながら事業を行っており評価できる。次年度以降も本事業の目的達成に向けて事業推進に努められたい。
- 令和4年度は新型コロナウイルス感染症に関する行動制限等があったものの、商工会議所における各事業の活動も活発化したことから、設定目標はおおむね達成できているものと思われる。  
一方で、事業計画策定支援後のフォローアップについて、売上及び経常利益率増加事業者数が目標の半分程度となっていることが懸念される。理由としては、コロナ禍による来店者数の減少が大きいと伺っているが、その他にも原油高騰や物価の高騰等による影響も大きいものと思われる。このため商工会議所による小規模事業者支援が一層重要な役割を果たすものと考えられることから、引き続き事業者に寄り添った支援を行うようお願いしたい。
- コロナ禍や物価高、インボイス制度導入等で事業者を取り巻く環境が厳しい中、計画に基づく事業を遂行し、9割近くにおいて目標を達成できたことは評価できる。今後も事業を継続する場合は、その効果をより検証できるよう実施者におけるアウトプット指標だけでなく、小規模事業者におけるアウトカム指標が増えると望ましい。
- セミナー、研修会の内容をある程度、細分化する必要があると感じる。事業形態や内容が業種により多様化して来ている状況を考えるとセミナー等の内容もより専門的にして行く必要があると思う。税務、経営一般、DX等に関しては、今まで通りで良いと思う。